

# 第76回日本弱視斜視学会・ 第45回日本小児眼科学会総会合同学会

会 長 菅澤 淳 (大阪医科大学 眼科学教室 功労教授)  
事務局長 戸成 匡宏 (大阪医科大学 眼科学教室 講師准)

第45回日本小児眼科学会総会を大阪大学の森本壮先生と共催させて頂きました。大阪国際会議場で2020年6月26日(金)、27日(土)に開催予定でありましたが、新型コロナウイルス感染対策のために、Web開催となりました。

4月に緊急事態宣言が出され、その後6月には解除されましたが、感染拡大の懸念を考慮し苦渋の決断となりました。様々な学会がWeb開催へと変更となるなかで、単にWeb上でスライドを閲覧できるだけでなく、可能な限り臨場感を視聴者に伝えたいという思いから、特別講演、シンポジウム、受賞講演についてはZoomで事前(6月26日、27日)に公開収録を行い、ライブでも参加できるように致しました。Zoomでの公開収録は共催して頂いた株式会社コングレのご尽力により、よりリアリティーのあるものとなりました。また、一般口演については、パワーポイントに音声を入力して頂き、こちらも実際の会場で視聴して頂く状態に近い状態にさせて頂きました。一般口演もポスター発表も質問投稿機能を設置し、視聴者が疑問に思ったことを投稿すると自動的に演者にメールが届き、演者がそれに対して返答できる機能を整えました。どのセッションも予想以上に意見交換が積極的に

行われており盛況でした。このような工夫のため、実際の学会場で拝聴するのに勝るとも劣らない良いものにできたのではないかと自負しております。Web配信自体は7月3日(金)から16日(木)までの2週間配信し、学会登録者は2048名と過去最多の参加になりました。Web開催の利点としては、遠方の先生方でなかなか現地に訪問することができない先生方や子育て中で訪問が困難な先生方にも気軽に参加いただける点や、繰り返し視聴が可能な点、自分の都合の良い時間に視聴することが可能である点などが挙げられると思いました。また欠点としては、スライドのデータの著作権の問題や患者の個人情報の問題、また何よりも現場の先生方と直接お話しをすることができないといった点があると思われました。今回、初めてのWeb学会ということもあり、すべてが手探りの状態でしたが、滞りなく会期を終了することができました。

最後に、本学会主催に際して多大なるご支援を賜りました大阪医科大学医師会の皆さまにこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、学会運営にあたりバックアップ頂きました池田教授に心より感謝いたします。

